

研究の背景： 21世紀の高度情報化社会におけるエンドユーザコンピューティングの実現

- (1) 若年労働者の不足を補うオフィスの生産性の向上
- (2) 高齢化社会を支えるための新社会資本（コンピュータネットワーク）の有効活用

研究の目的： 2種類のエンドユーザの支援

- (1) 業務の専門家の支援（CSCWの視点）
- (2) 一般のユーザの支援（CS-lifeの視点）

研究の目標： すべての日常的仕事をコンピュータに代行させる。

主要な研究開発技術：

- (1) エンドユーザが自分のエージェントを自ら作り、自ら利用するためのツール
- (2) 電子書式、電子書類のサーバ群と組織間共通プロトコル
- (3) エンドユーザインタフェースの多様化（マルチメディア化）とユーザ毎の統一化

